

## ペルー共和国のロベルト・セミナリオ 駐日特命全権大使が剣淵町を訪問



11月11日から12日の2日間、ペルー共和国のロベルト・セミナリオ駐日特命全権大使が初めて剣淵町を訪れ、「ビバアルパカ牧場」と「絵本の館」を視察しました。

ペルー駐日大使の来町は、2014年以来的の11年ぶりとなりました。

ビバアルパカ牧場では、のびのびと過ごすアルパカの姿やこれまでの剣淵町とペルーとの交流の様子が分かる写真パネルを見せ、北海道剣淵ペルー共和国親善協会の佐々木智雄会長も交え

てペルー共和国訪問時の写真や「剣淵ペルーデー」の制定、じゃがいもフェスティバルを開催したことなどをお話しました。

絵本の館では懇談会を実施し、今後の交流事業について意見交換を行いました。

早坂町長は、「今日の再会を機に友情が深まり、交流が活性化することを願っています。」と歓迎の挨拶を述べました。

セミナリオ大使は、「剣淵町でアルパカを見ることができ、とても驚いた。絵本の館もとても多くの絵本があって印象的だった。新型コロナウイルスの影響で関係が薄れてしまっていたが、これからも剣淵町とペルーとの交流を深めていきたい。」とこれからの交流事業への意気込みを述べていました。



### ペルー共和国とのつながりのきっかけ

#### 【ペルー共和国フニン県イキル郡パルカマヨ区】

平成19年の11月に2頭（タビーとパンチ）の試験飼育から始まり、ビバアルパカ牧場のオープン式には、ペルー共和国駐日特命全権大使が訪れたことから交流が深まり、その当時は国内初となるペルー共和国行政区（ペルー共和国フニン県タルマ郡パルカマヨ区）と平成23年7月6日に姉妹都市提携を結びました。

#### 【ペルー共和国フニン県イキル郡タルマ市】

パルカマヨ区を目指してタルマ市に滞在中、タルマ市長から市民栄誉賞のメダルが贈られ、タルマ市と剣淵町との文化、経済、観光などの友好交流に向けて、剣淵町との姉妹都市提携の要請を受けました。訪問団が滞在中には、地元の学校を休校にし、訪問団を歓迎するなど住民一丸となったおもてなしを受け、子どもたちが作った手料理や町旗の交換など住民と懇親を深めました。その後も、新しい大使や公使の訪問、海外ペルー協会との交流などを経て、平成27年9月28日に姉妹都市提携を結びました。

## 町内在住の 88 名の方に長寿祝い金を贈呈 「これからも末永く元気でお過ごしください」

9月12日、百歳高齢者内閣総理大臣感謝状、記念品及び長寿祝金の贈呈が行われ、10月23日、対象となる全ての方にお渡しすることができました。

このたび、令和7年度に満100歳を迎えられた方・迎えられる方に対して内閣総理大臣からの祝状と記念品の銀杯が贈られ、剣淵町からは祝金が贈呈されました。今年度満100歳を迎えられたのは、小池アイ子さん（東町）、鈴木タメ子さん（仲町）、安藤キヨ子さん（元町）の3名です。

このほか、喜寿44名、米寿33名、白寿8名に剣淵町から長寿祝金が贈呈されました。



## 第68回剣淵町文化祭（作品展示会）を開催

10月25日、26日、町民センターにおいて、第68回剣淵町文化祭（作品展示会）を開催しました。

当日の作品展示会は、町民センターに写真や水墨画、短歌、書道など多岐にわたる作品が数多く展示され、2日間で合計100名を超えるたくさんの方が会場を訪れ、作品をじっくりと鑑賞していました。



## 第 68 回剣淵町文化祭（芸能発表会）を開催

11月8日、町民センターにおいて、第68回剣淵町文化祭（芸能発表会）が行われました。

当日は、剣淵小学校5年生・6年生によるよっちょれの演舞や保育所きりん組による歌の披露、剣淵屯田太鼓など16団体、約100名が日頃の練習の成果を披露しました。

会場には多くの方が訪れ、各団体の発表が終わるごとに盛大な拍手が送られていました。



## 小学校4年生が社会福祉の大切さを学ぶ

11月11日、剣淵小学校において、剣淵町社会福祉協議会が社会福祉の大切さを学ぶ授業「みんなが暮らしやすい社会をつくろう！～社会福祉について考えよう～」を4年生19人に対して行いました。

授業では、「社会福祉」の仕組みに関することや困っている人への声かけの大切さなどを説明しました。

授業の後は、体育館で西原学園の利用者6名とディズニー曲「ジャンボリーミッキー」を一緒に踊って交流を深めていました。

